

F-ROAD SUPER-BEETLE PROJECT 2nd SEASON

ピンビープロジェクト・Vol.23
セカンドシーズン!



ピンビープロジェクト第二章終了!

この姿で取材に遊びに街へ飛び出すぞ!

F-ROAD SUPER-BEETLE PROJECT

ピンビーの街乗りバージョンようやく完成。これからはエフロードの取材に遊びにと、この姿で街に飛び出して大暴れだ。と思いきや、ちょっと街乗りを始めたらず不具合も多々出てくることでしょうか、しばらくは様子見で乗り回してみることになります。次号から不定期連載で不具合をチェックしつつのレポートです。

文●半谷範一 撮影●森口信之
取材協力●ベストインポートサービス TEL:048-282-6119 <http://www.vw-bis.co.jp>
スピードジャパン TEL:03-3555-8865 <http://www.speedjapan.co.jp/>
日栄自動車商会 TEL:024-534-9680 <http://auto.jocar.jp/nichiei/>



2年以上にわたり連載が続いてきたこのピンビープロジェクト、今回でレギュラーの連載は終了となります。それにしても、連載開始当時はまさかこのような姿に生まれ変わるとは思ってもいませんでした。

先月までで、ピンビーの内外装をストリート仕様にコンバートする作業はほぼ終了しました。カーペットすらないスパルタンなインテリアではあるものの、草レース仕様を街乗りに使おうというピンビーのコンセプトには良く似合っていると思います。

しかし、街乗り用として使うためには、まだまだそれだけでOKというわけじゃありません。レース仕様にセットアップしたエンジンを街乗り仕様に戻さなければならぬからです。

現代のインジェクションのクルマであれば、基本的には街乗りとサーキット走行でセットアップを変える必要はないでしょう。でもこの時代のキャブ車の場合それは無理。レース仕様のままじゃ燃料濃すぎて、街中じゃゲホゲホいっちゃいます。

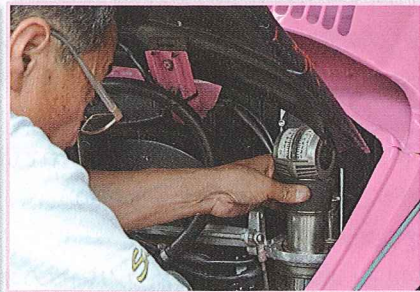
ピンビーの場合、アフターファイアも頻発しているので、それ何とかなしたい。パンパンいいながら走っているのはクルマに悪いことはもちろん、格好悪いし、運が悪いと整備不良でパトカーに止められちゃったりするかもしれません。

アフターファイアの原因は、どこからかエアでも吸っているのか、燃料が薄いのか、ジェットにゴミでも詰まっているのか、左右のキャブの同調が取れていないのか、プラグの熱価が合っていないのか...など、まあ原因として考えられることは色々ありますが、今回はジェットを交換して様子を見ることにしました。

ピンビープロジェクト、レギュラーとしての連載は二応今回が最終回となりました。しかし、今後も何かモディファイを行なったときには再登場してもらう予定なのでお楽しみに。



レースのセッティングから 街乗り用にキャブ調整など



ビートルのエンジンは元々シングルキャブなので、エンジン・コンパートメントの左右にはまったくといっていいほど余裕がありません。ツインキャブにしようとしても、整備するにも調整するにも手が入らないので大変です。そこで、ビンビーではリアフェンダーの内側にサービスハッチを開けて、キャブに簡単にアクセスできるようにしてあります。最初、アフターファイアの原因は二次エアを吸っているからか? と思いマニ等の接合部を確認しましたが特に問題はありませんでした。アフターファイアは通常燃料が薄すぎるときに発生するものの、逆に濃すぎる場合にも出ることがあります。今回はレース用で濃い目のメインを使用していたため、当初は若干リッチ方向で調整したものの改善されず。結局セオリー通りにさらにリッチ方向に振ったら改善されました。でも、しばらく街乗りメインで使用するなら、ノーマルのシングルキャブエンジンに換装した方がベターかも知れません。

ひとまず完成!



久々にビンビープロジェクトの関係者が勢揃い。今まで色々あったけれど、これにてひとまず完成です。もちろんまだまだ色々と手を入れてゆく予定なので、これから先も誌面に登場する機会があると思います。もしイベント等で見かけたら、気軽に声をかけてくださいな。

街乗りには欠かせない ETCも付けました



やっぱり現代のクルマとしての実用性を考えるならETCの装着は必要不可欠でしょう。もちろんビンビーにもあまり目立たぬように取り付けることにしました。

